

繋ぐを創る 世界を繋ぐ

世界中のモノづくりとネットワークを繋ぐ・創る“メーカー商社”

2022年3月期

決算説明資料

RIX リックス株式会社

証券コード：7525（東証プライム市場）

1.会社概要

2.決算概要（2022年3月期）

3.中長期経営計画

4.本年度見通し

5.事業トピックス

1. 会社概要

国内外の産業界に機器や部品などを製造・販売する

“メーカー商社”

国内外に拠点を展開

国内 **35** 拠点



海外 **7** カ国 **11** 拠点



国内グループ会社

8 社



エクノス（福岡県） / タイヨ-軸受（福岡県） / ロッキ-ケミカル（福岡県）
高研（大阪府） / リックステクノ（愛知県） / ネクスCT（神奈川県）
ROCKY-ICHIMARU（福岡県） / 四葉機械製作所（埼玉県）

1907年 創業

創業 **115** 年



創業時には足袋の卸売りを担い
官営八幡製鉄所（現・日本製鉄）と取引

4つの機能を融合させ産業界の顧客課題を解決

販売商社機能

世界中のモノづくりのプロセスでお客様の困りごとを解決するため、最適案を探索し、タイムリーに提供

メーカー機能

お客様が抱える課題を解決するため、流体制御技術を用いた独自性の高い製品を提供



研究開発機能

時代の変化に対応し、顧客課題を解決し続けるため、様々な流体を制御するテクノロジーを追求

サービス機能

100年を超える歴史で積み上げてきた実績を基に、お客様に合った独自のソリューションに昇華

国内外の産業界向けに機器や部品を製造・販売

製品・商品の取扱数は
約**3,000**種

顧客は産業界の大手企業

自社製品



ロータリージョイント（回転継手）

取り扱い商品



圧力発生機



オイルスキマー（浮上油回収）



高圧水洗浄機



G-Smasher（微粒化装置）
など



難所点検ドローン
など

販売

鉄鋼



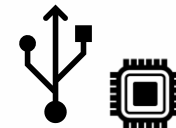
日本製鉄
JFEスチール
神戸製鋼所
など

自動車



トヨタ自動車
デンソー
日産自動車
など

電子・半導体



京セラ
パナソニック
東芝
など

ゴム・タイヤ



ブリヂストン
住友ゴム
横浜ゴム
など

工作機械



ファナック
DMG森精機
ヤマザキマザック
など

高機能材



旭化成
AGC
東レ
など

環境



川崎重工業
クボタ
日立造船
など

紙・パルプ



王子製紙
大王製紙
日本製紙
など

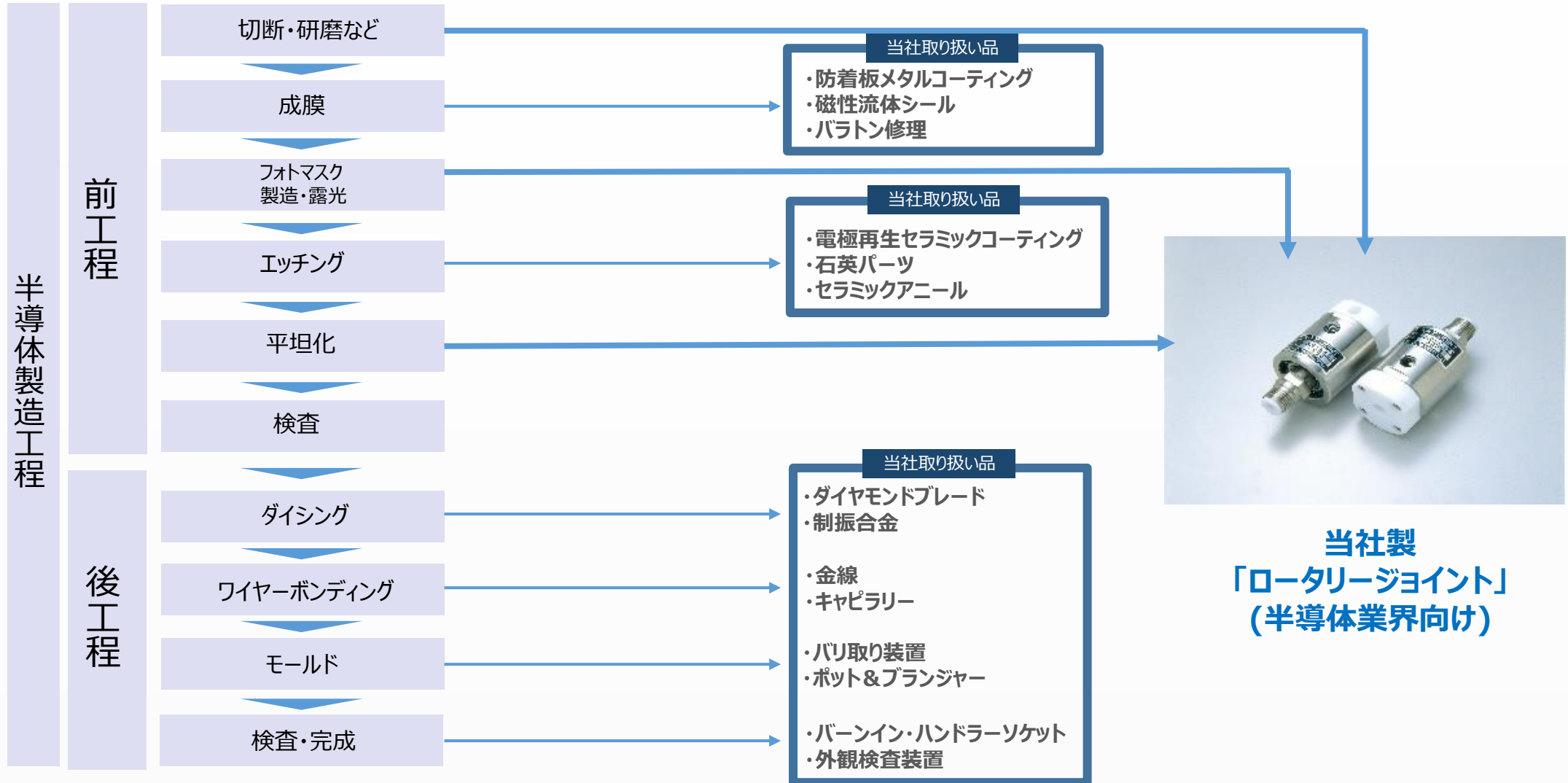
食品



サントリー
日清食品
森永乳業
など

生産ライン全体を網羅した製品・商品の取り扱い

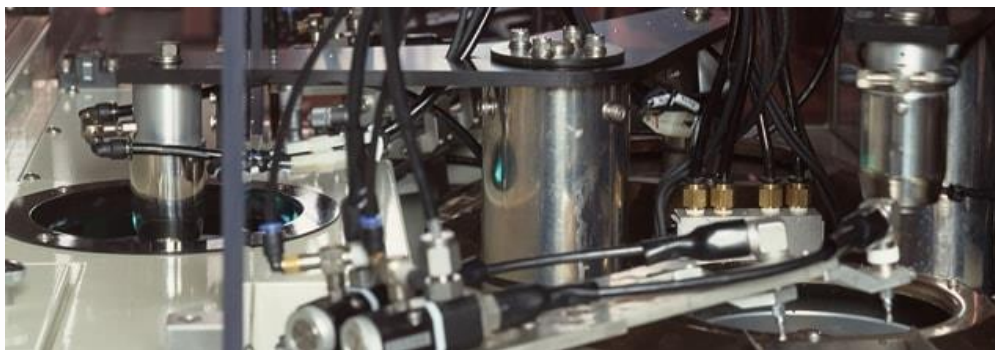
(例) 半導体製造工程



半導体の生産ラインに不可欠

当社製品 ロータリージョイントの役割

製造工程「ウエハー研磨」「平坦化」



材料であるウエハーの表面を磨く工程です。（CMPなど）ウエハーを回転テーブルに乗せて磨きます。ただ、ウエハーは厚さ0.2mm程度で非常に割れやすく、固定が難しいです。そこで、回転テーブルとウエハーを真空状態で密着させながら磨いています。

当社製「ロータリージョイント」

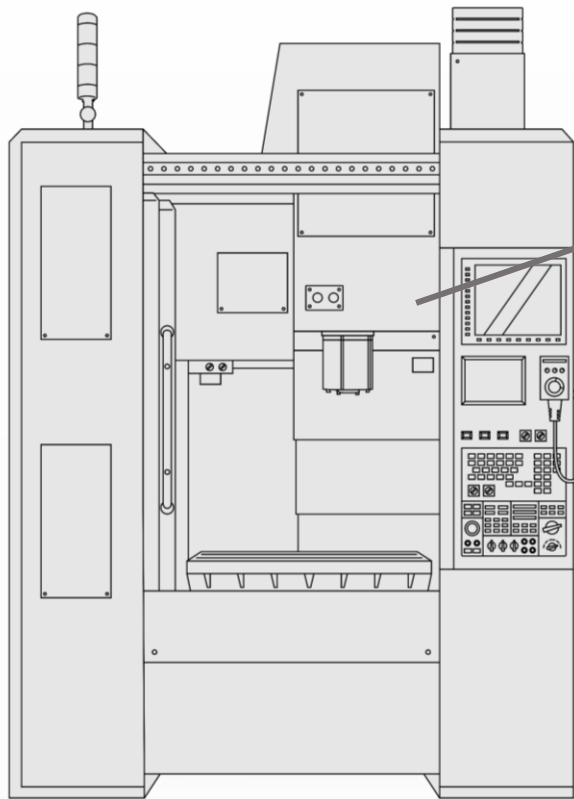


真空状態にするため、配管に空気を通す必要があります。その際に、当社製のロータリージョイントが活躍しています。

工作機械業界では国内トップシェア

工作機械

金属や樹脂を、切断・穴あけ・折り曲げなど加工するマシン



当社製 ロータリージョイント



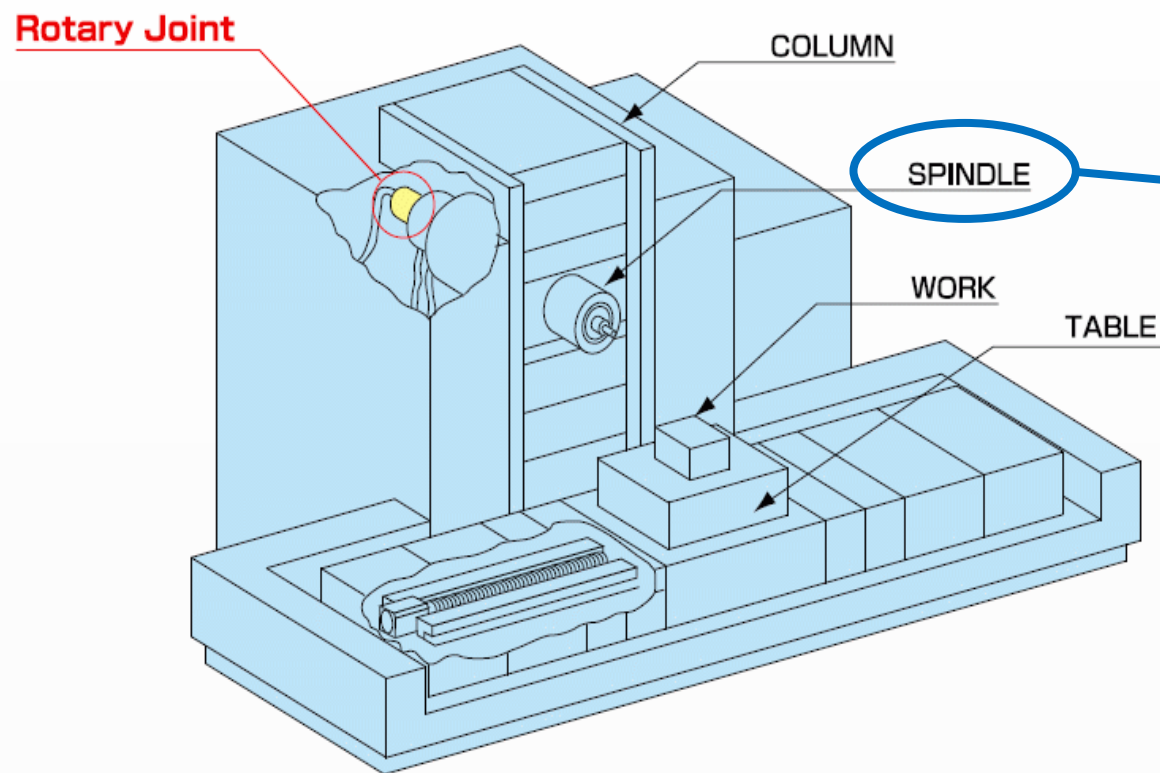
※当社調べ



ドリルで加工物を削る際に熱が発生するため冷却が必要
⇒ロータリージョイントでクーラントを供給

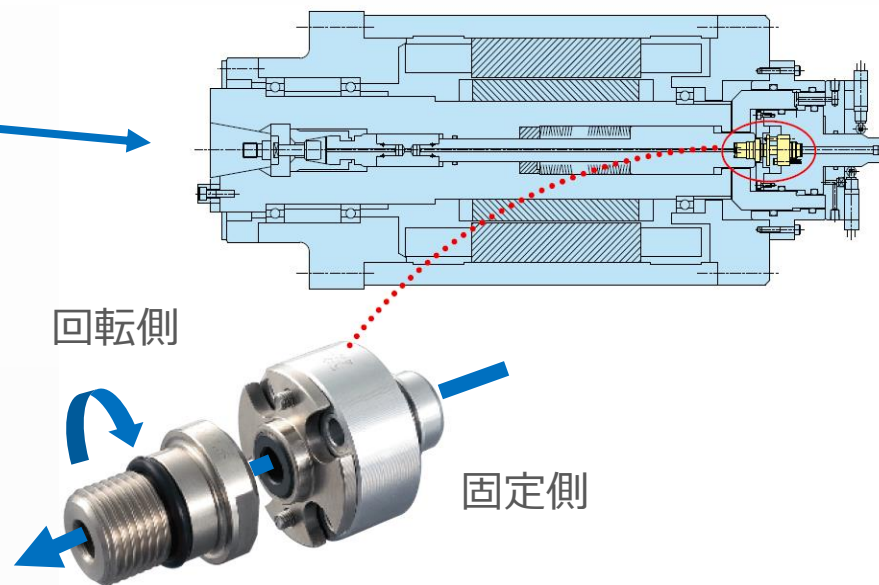
工作機械

ドリルなどを回転させる「スピンドル」部分に使用



スピンドル部拡大

拡大



当社製 ロータリージョイント

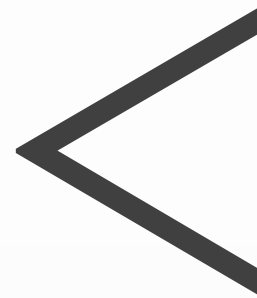
“メーカー商社”として顧客ニーズに幅広く対応可能

メーカー

- GOOD! 技術力が高い
- BAD! 取扱品数が少ない

商社

- GOOD! 取扱品数が多い
- BAD! 技術力が低い



課題解決力
(技術力×取扱品数)

RIX

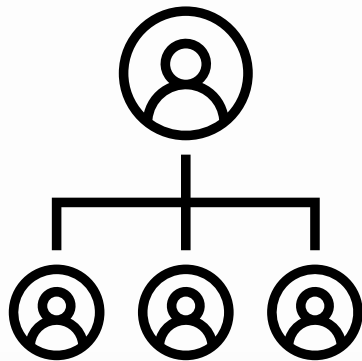
メーカー商社

- GOOD! 技術力がある
(自社工場と研究開発施設保有)
- ×
- GOOD! 取扱品数が多い
(取引先約2,600社 商品数約3,000種)
- ||

様々な顧客のニーズに応える
高い課題解決力

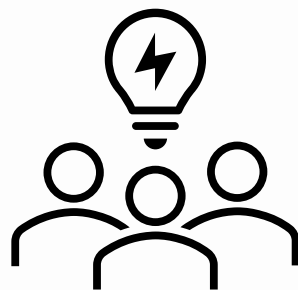
高い専門性で顧客密着

業界プロ制度



- 各業界担当のプロを養成
- 先見的思考で課題を先読み
- 顧客ニーズを的確にキャッチ

長い歴史で紡いだ
情報共有



- 創業115年で得た情報を全社共有
- 若手でも深い顧客理解
- 顧客にとって有益な営業担当

顧客密着



- 顧客近くに営業所を配置
- 仮説提案と課題解決で信頼獲得
- 顧客より顧客のことを考える

2. 決算概要

(2022年3月期)

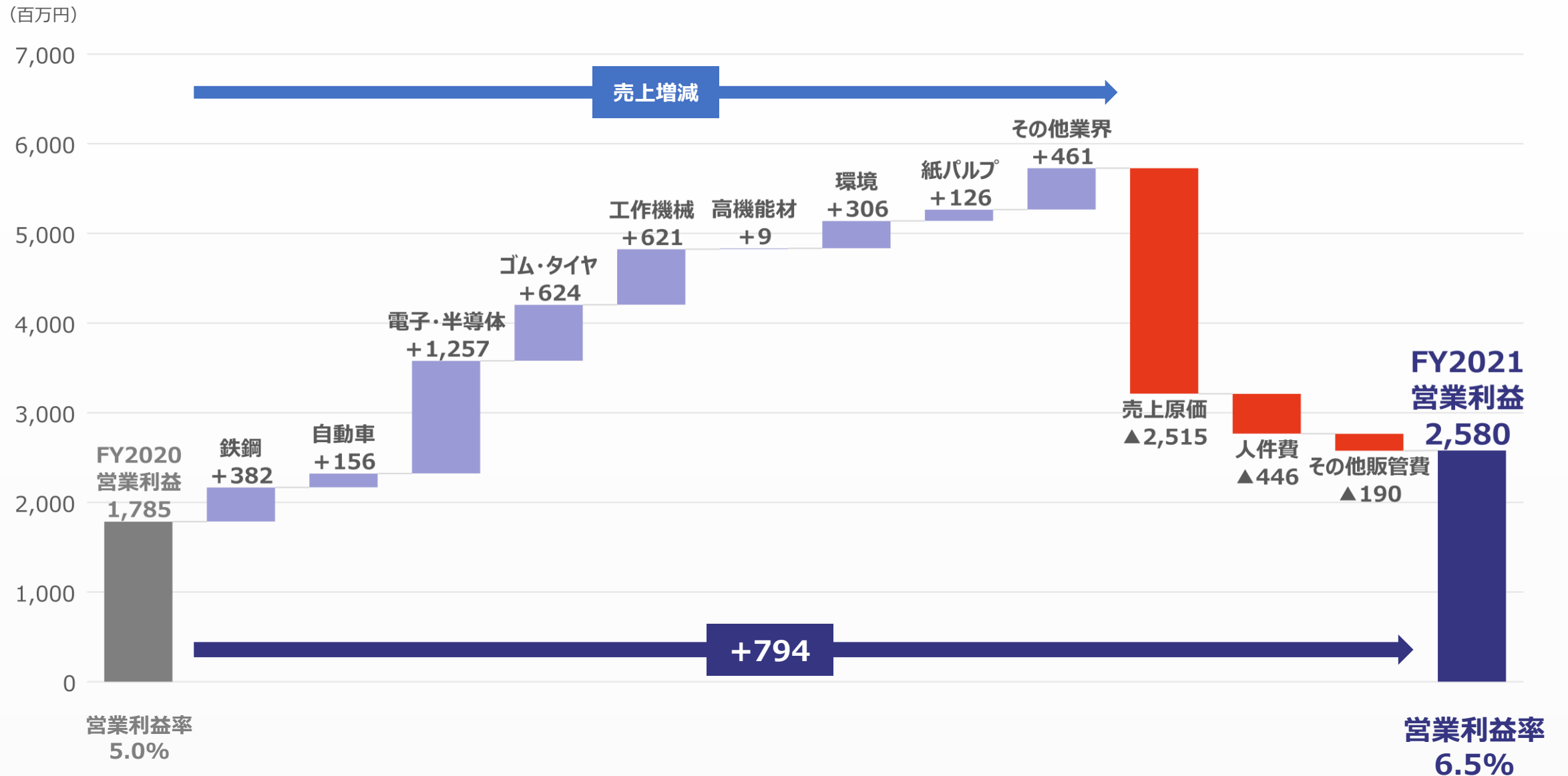
連結業績概況

売上高は2期ぶりの増収。営業利益、経常利益および当期純利益は3期ぶりの増益。

売上高	39,969 百万円	(前期比：－%) ※今期より新収益認識基準適用のため
営業利益	2,580 百万円	(前期比： +44.5%)
経常利益	2,985 百万円	(前期比： +42.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,051 百万円	(前期比： +50.3%)

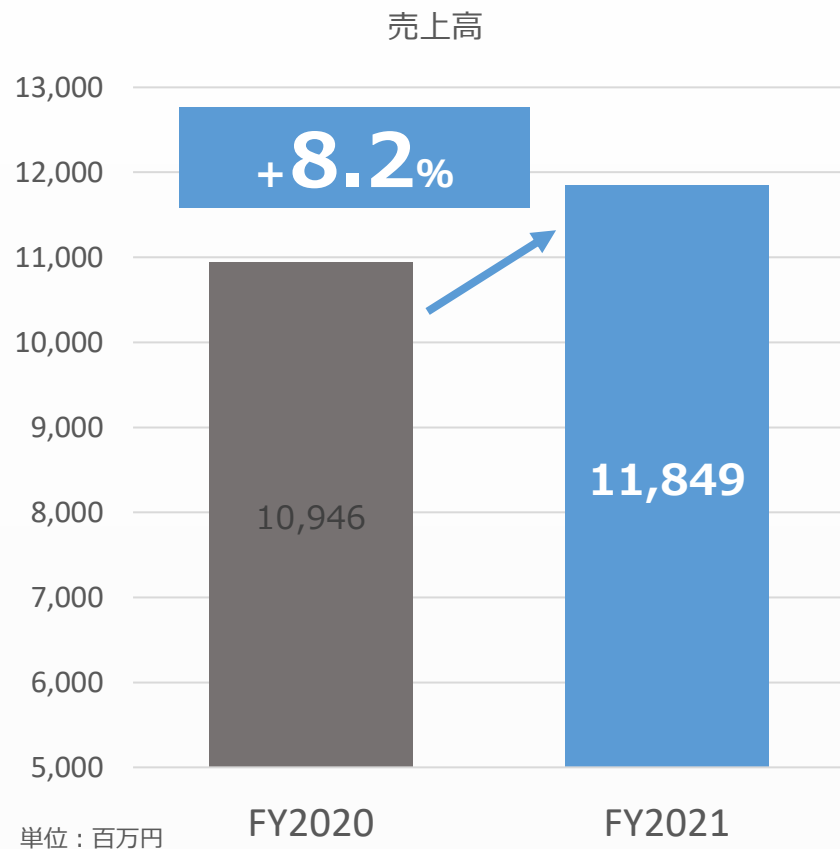
- 売上原価率が0.8%改善したことで売上総利益が前年同期比17.5%増。
- 販管費は、業績回復による人件費、販売費の増加により前年同期比9.9%増。
- 営業外収支は、円安進行による為替差益と持分法投資損益がプラスに転じたことなどで前年同期に比べプラス100百万円。

営業利益増減要因



鉄鋼

操業部門への営業活動に注力し、売上伸長



※比較のため収益認識基準適用前の売上高を表示しております。
決算短信他資料に記載の売上高とは異なります。

要因

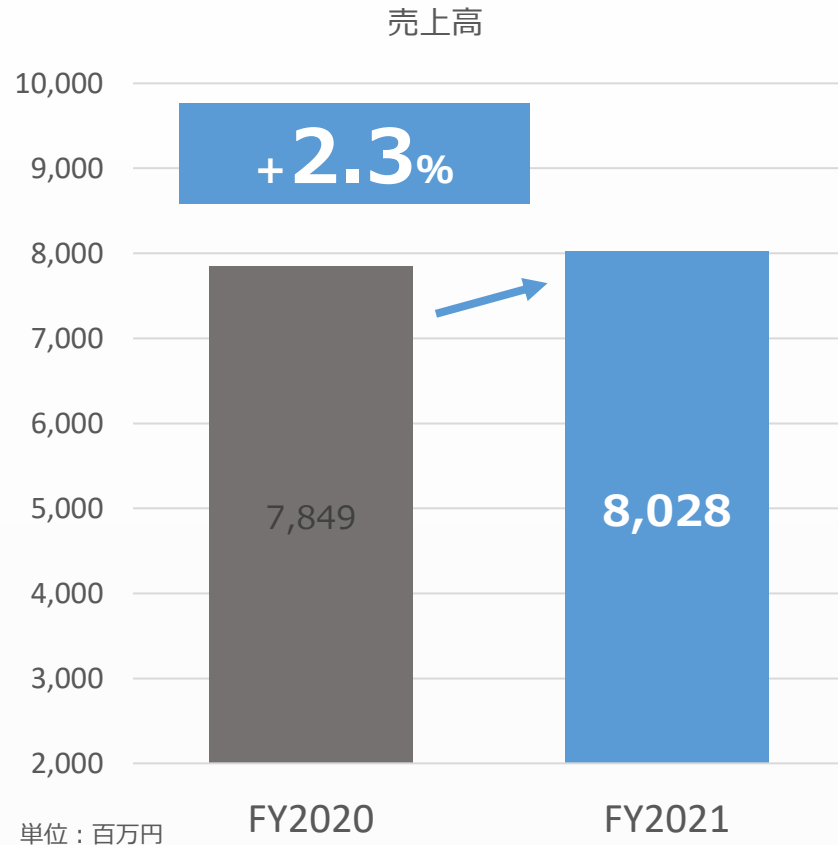
1. 整備部門だけでなく操業部門への営業活動に注力した結果、製鋼副資材の販売が伸長
2. ダストリサイクル設備向け部品や、熱延工程向け高圧バルブなどの販売が増加



製鋼副資材一例「ロッキーライトRS」

自動車

成長分野に注力し、前年より売上微増



※比較のため収益認識基準適用前の売上高を表示しております。
決算短信他資料に記載の売上高とは異なります。

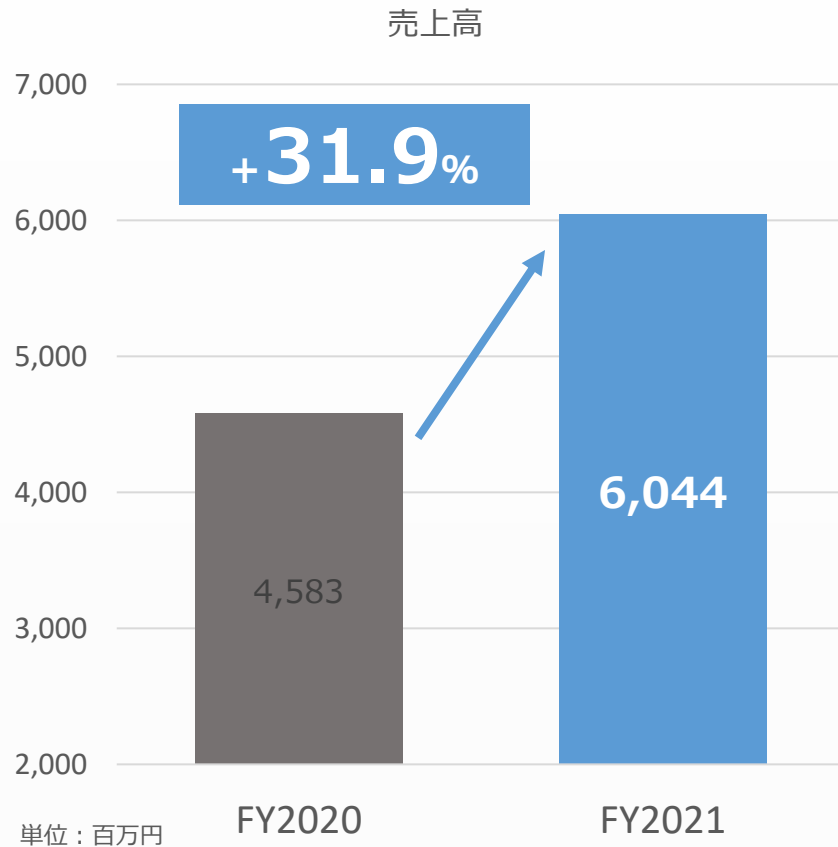
要因

電池、モーター分野やデジタル技術に関する提案活動に注力

音響カメラや自動搬送システム、塗布装置やディスペンサー等の販売が伸長

電子・半導体

過去最高だった前年の売上高を14.6億円更新



※比較のため収益認識基準適用前の売上高を表示しております。
決算短信他資料に記載の売上高とは異なります。

要因

メーカー機能や修理サービス事業の強化、デジタル新商品の拡販やリサイクルビジネスに繋がる活動に注力

半導体製造装置用シール材や回転継手、洗浄装置の販売が伸長



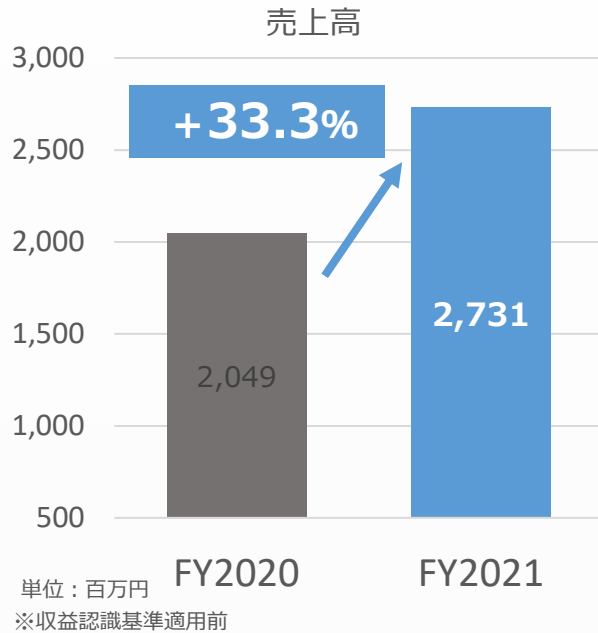
自社製品「ロータリージョイント」
(半導体業界用)



自社製品「洗浄装置」

ゴム・タイヤ

**前年より大きく伸長
過去3番目の売上高**

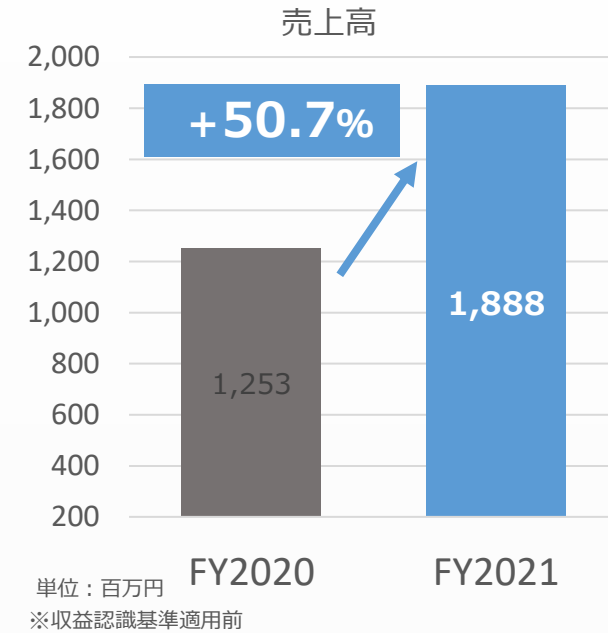


要因

- 開発案件の対応強化や補修ビジネスに関する営業活動に注力した結果、加硫機用バルブの売上が伸長
- 水封式真空ポンプの大口案件が売上増に貢献

工作機械

**自社製品の開発・販売に注力
セグメント別トップの売上高伸長**

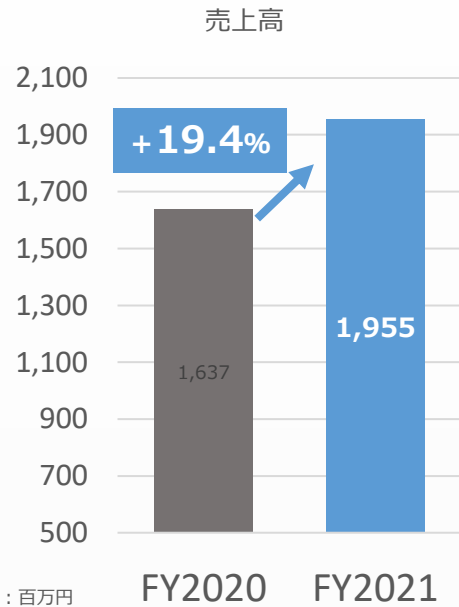


要因

工作機械の複合化に対応する新しい回転継手の営業に力を入れたほか、新型回転継手の開発にも注力。その結果、回転継手や渦巻きポンプ等の売上が伸長。

環境

水・脱炭素・再生エネルギー 関係で好況



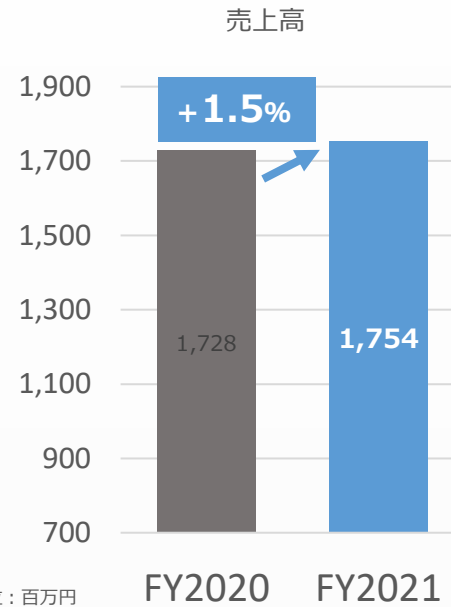
※収益認識基準適用前

要因

SDGs関連の水処理事業や再生エネルギー分野に注力した結果、プラントメーカーや環境装置向け商材の販売が伸長

高機能材

医薬・化粧品業界の開拓で 売上微増



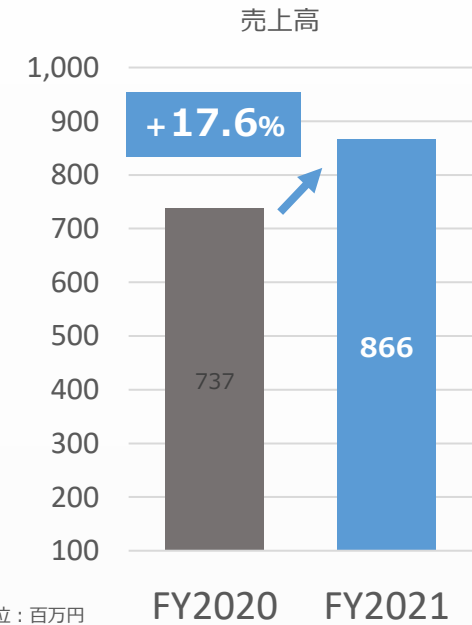
※収益認識基準適用前

要因

高機能フィルムメーカーへの深耕、医薬・化粧品業界の開拓に注力した結果、医薬向け真空ポンプ販売、チラー（液温調節機）のレンタルなどで売上増加

紙・パルプ

設備投資案件で売上増

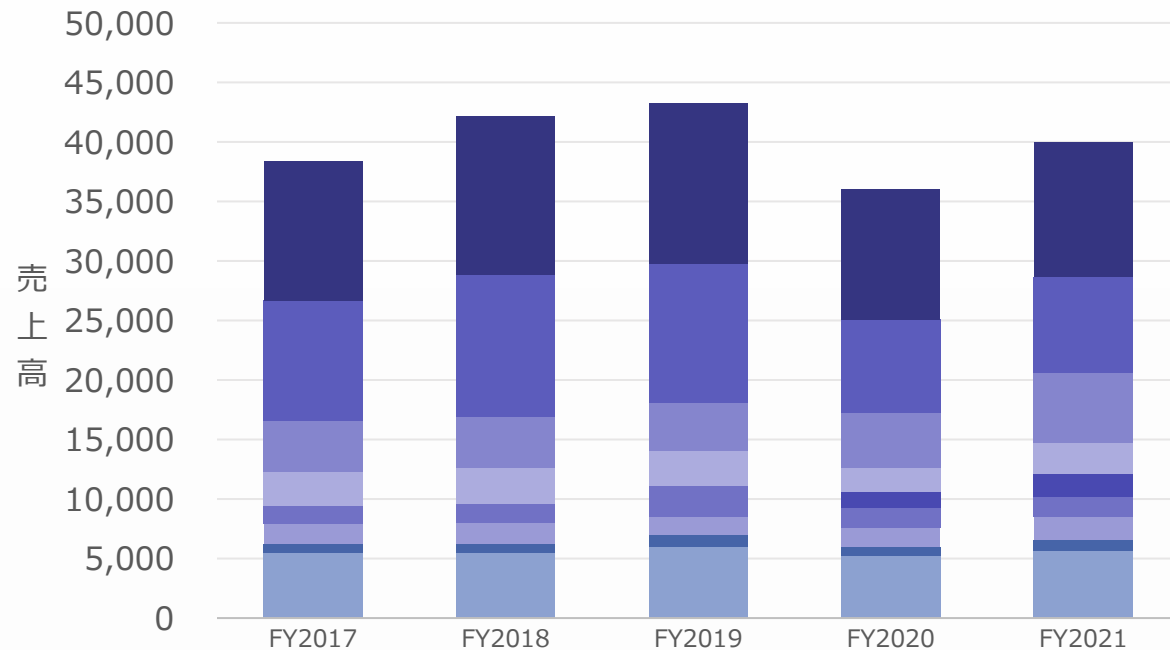


※収益認識基準適用前

要因

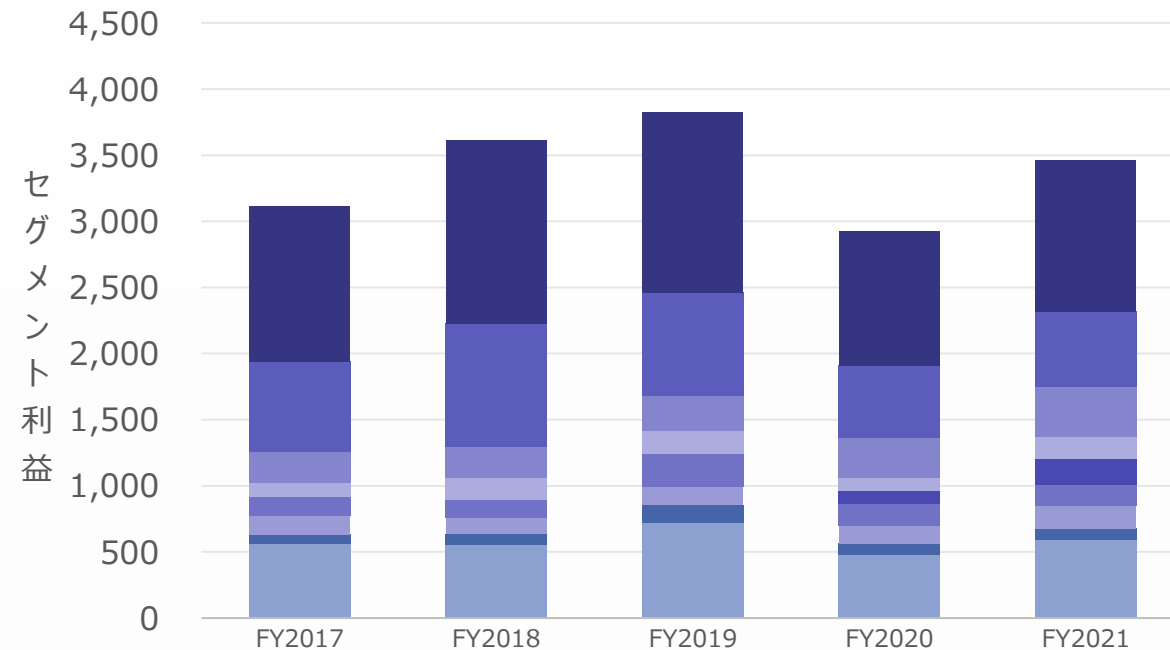
各種設備投資案件に注力した結果、ポンプ納入や粉体溶解装置改造の案件で売上増加

売上高推移 (単位：百万円)



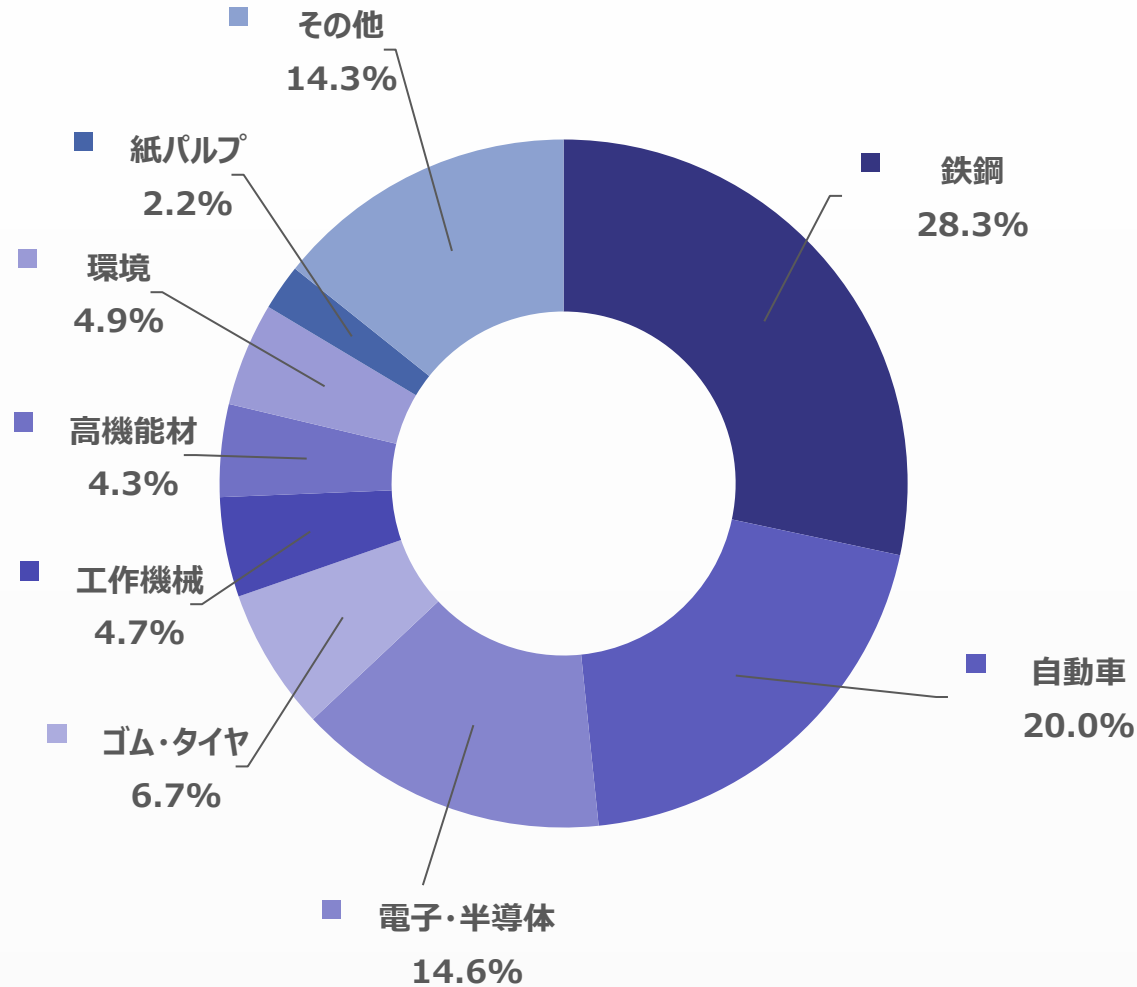
■鉄鋼	11,706	13,321	13,509	10,946	11,328
■自動車	10,149	11,895	11,605	7,849	8,006
■電子・半導体	4,231	4,297	4,053	4,583	5,840
■ゴム・タイヤ	2,862	2,992	2,962	2,049	2,673
■工作機械				1,253	1,874
■高機能材	1,519	1,552	2,574	1,728	1,737
■環境	1,718	1,830	1,545	1,637	1,944
■紙パルプ	732	729	937	737	864
■その他	5,487	5,515	6,058	5,237	5,699

セグメント利益推移 (単位：百万円)

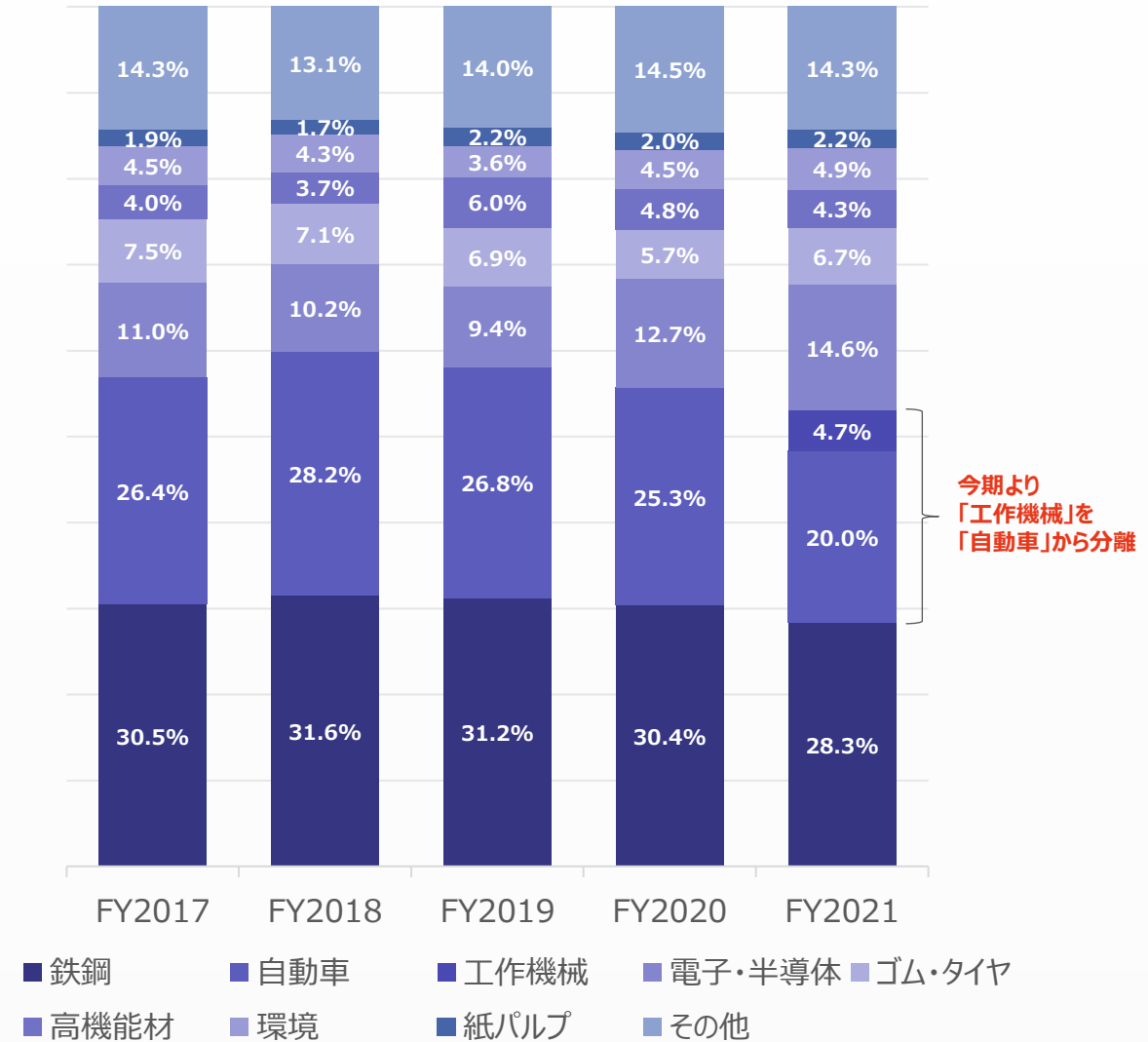


■鉄鋼	1,177	1,386	1,362	1,014	1,142
■自動車	680	927	784	544	565
■電子・半導体	232	237	257	303	384
■ゴム・タイヤ	105	159	178	100	162
■工作機械				99	202
■高機能材	150	138	248	166	157
■環境	141	129	141	137	173
■紙パルプ	68	79	131	79	82
■その他	562	554	723	484	595

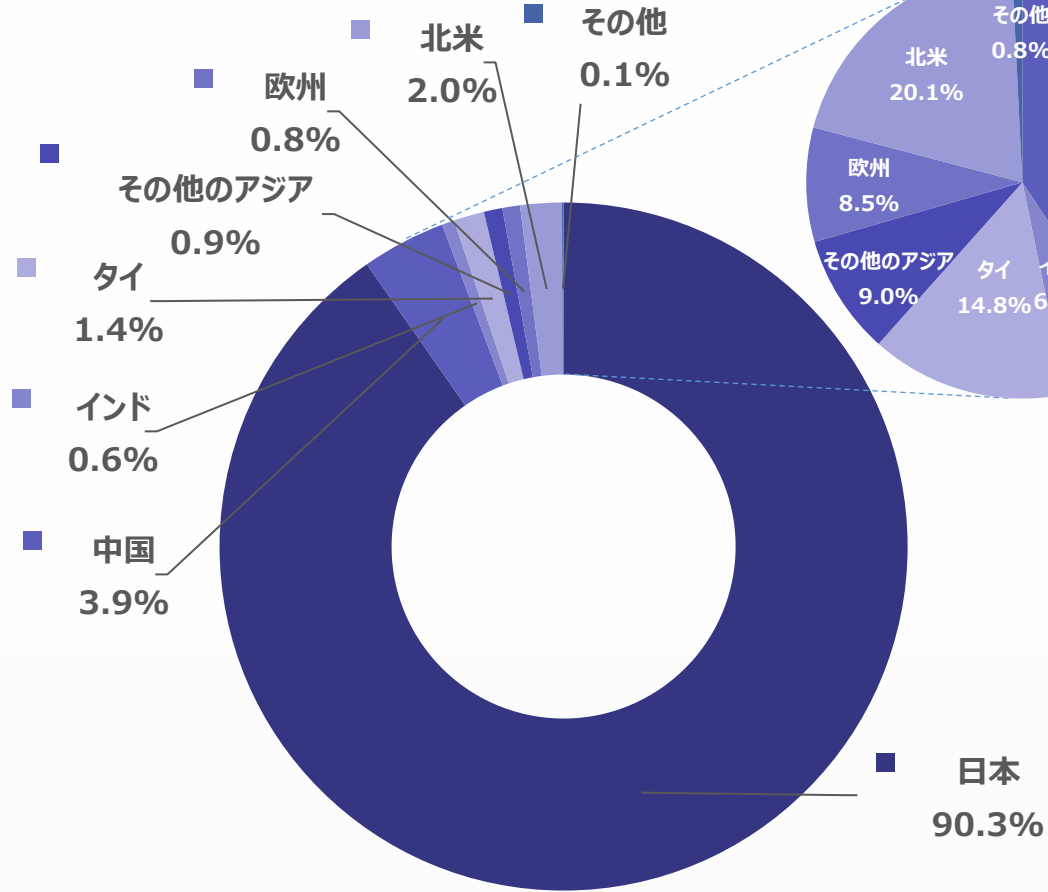
セグメント別売上高構成比



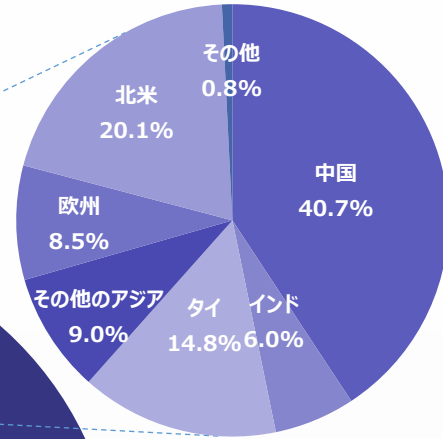
構成比推移



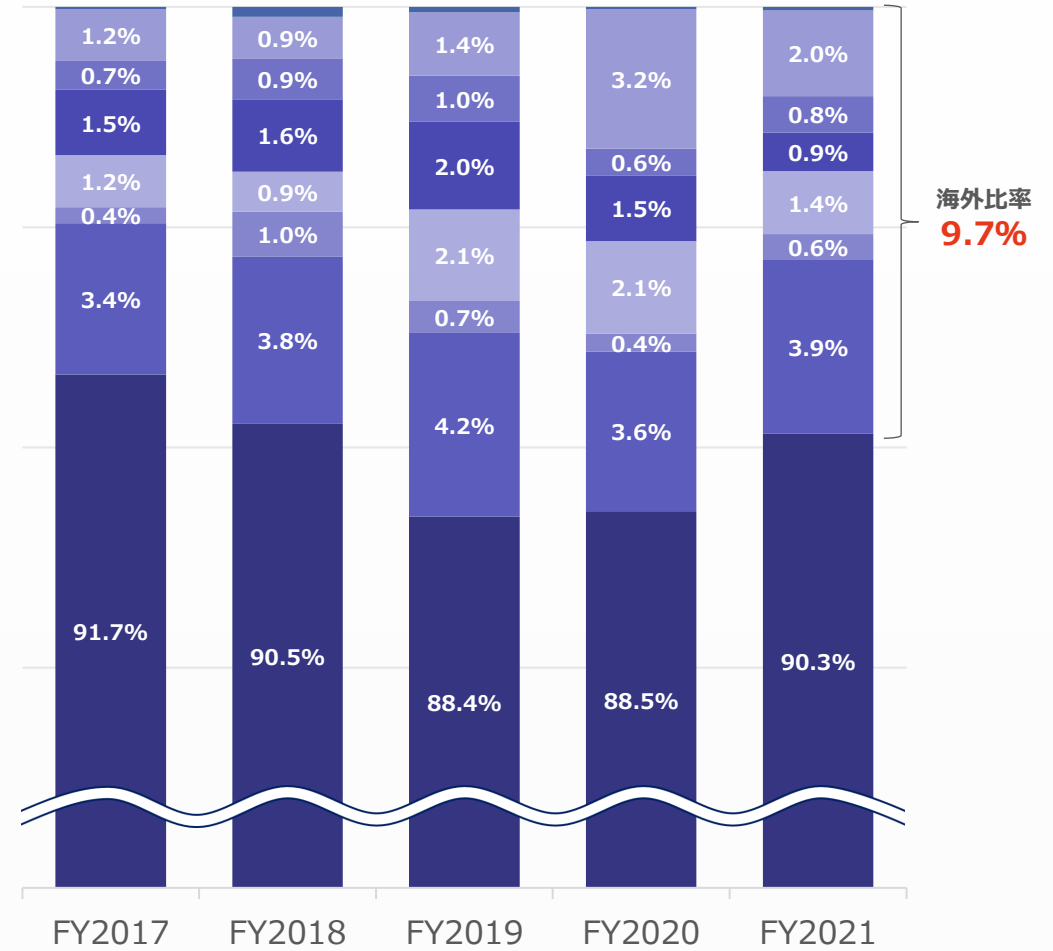
地域別売上高構成比



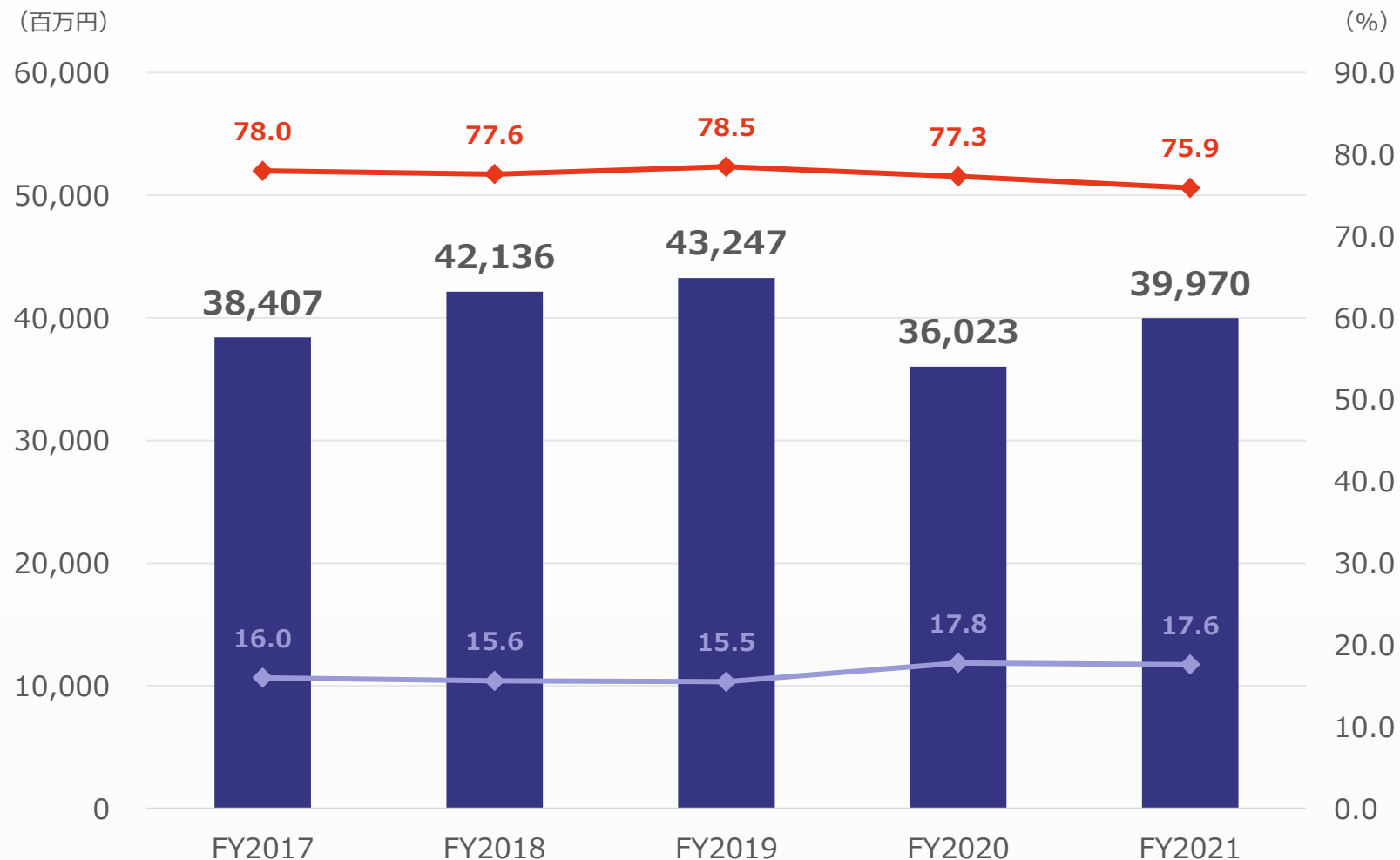
海外売上高構成比



構成比推移



■日本 ■中国 ■インド ■タイ ■その他のアジア ■欧州 ■北米 ■その他



■ 連結売上高 (百万円) ● 売上原価率 (%) ◆ 販管費率 (%)

売上原価率 減↓ (前々期比)

(要因)

- ・ 利益率の高いオリジナル品の売上が伸び、2.1%減少

<オリジナル品>

当社グループのみから提供できる商品・製品・サービスまたはその組み合わせのこと

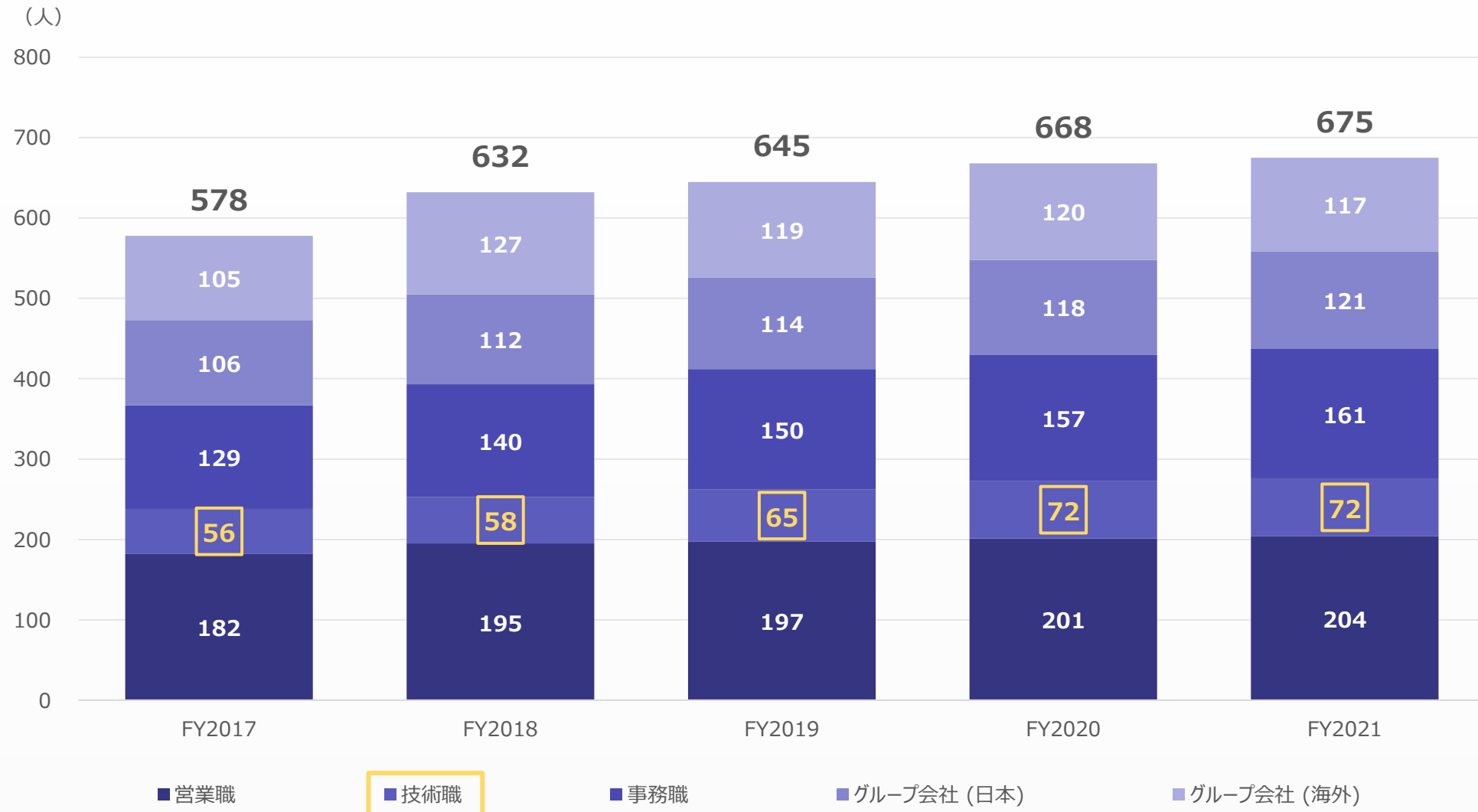
販管費率 増↗ (前々期比)

(要因)

- ・ 人員増による総人件費の増加 (次ページ参照)
- ・ 社内DX推進のための外部コンサルティング費用の増加

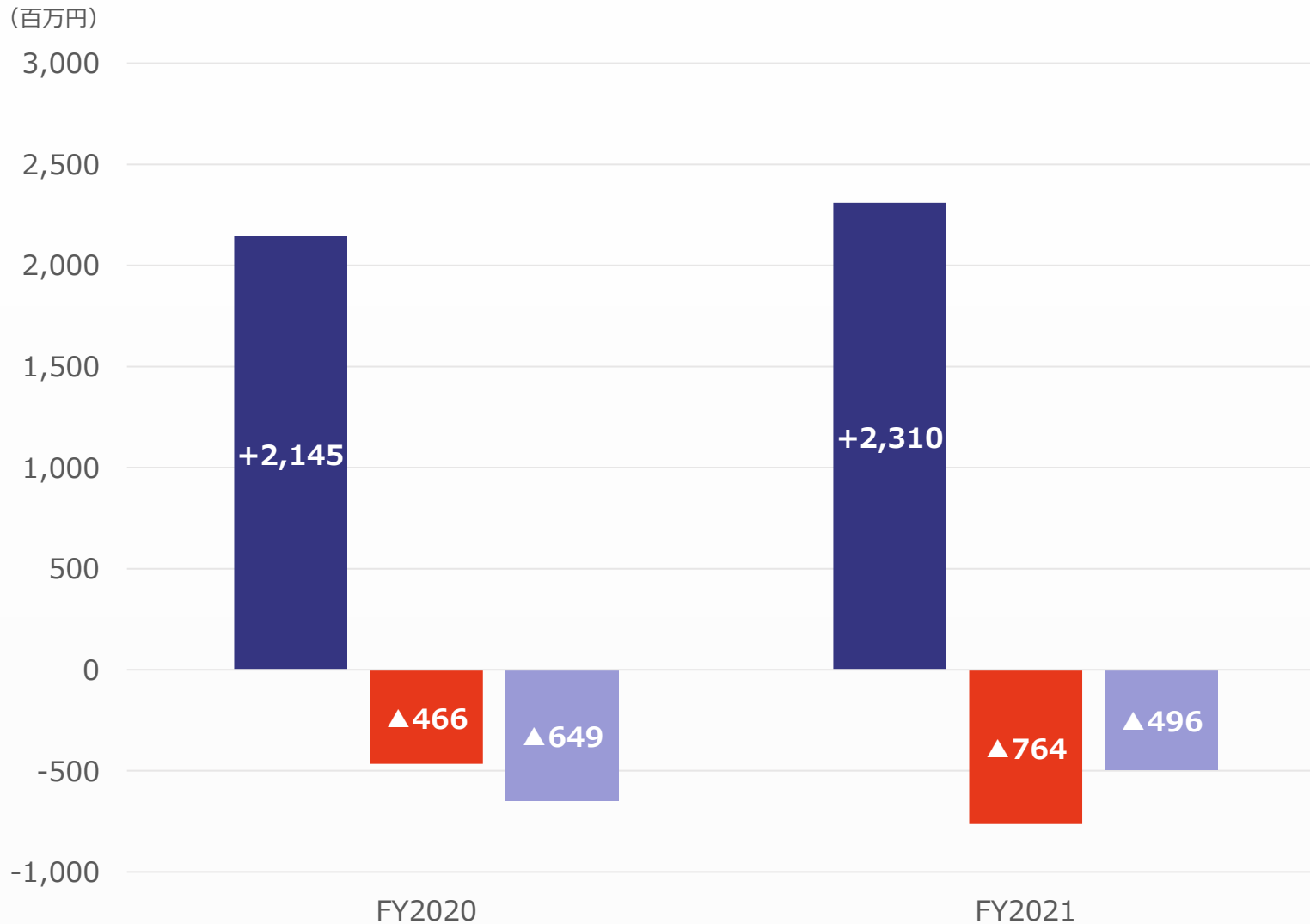
(参考) 従業員数の推移

開発機能強化を目的として、近年は**技術職**の採用数が増加。



受注・売上の増加に比例して、流動資産、流動負債がそれぞれ増加しました。

(単位：百万円)	FY2020	FY2021	増減額		FY2020	FY2021	増減額
流動資産	23,389	27,184	+3,794	流動負債	10,910	13,257	+2,346
現預金	7,689	9,103	+1,414	仕入債務	7,990	9,532	+1,541
売上債権	13,718	15,328	+1,610	短期借入金	1,518	1,515	▲3
棚卸資産	1,708	2,379	+671	固定負債	1,394	1,430	+35
固定資産	6,789	7,003	+214	負債合計	12,305	14,687	+2,382
有形・無形固定資産	3,112	3,213	+101	株主資本	16,862	18,464	+1,601
投資その他の資産	3,676	3,789	+112	純資産合計	17,873	19,500	+1,626
資産合計	30,178	34,187	+4,008	負債純資産合計	30,178	34,187	+4,008



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

現金及び現金同等物

期末残高 : 81億95百万円
 前期比 : +11億52百万円

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

前期比 : +1億64百万円

(収入)

税金等調整前当期純利益 : 29億88百万円
 減価償却費 : 3億45百万円
 仕入債務増 : 15億10百万円
 その他の負債増 : 2億29百万円

(支出)

売上債権増 : 15億74百万円
 棚卸資産増 : 6億42百万円
 法人税等の支払 : 5億79百万円

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

前期比 : ▲2億98百万円

(収入)

有価証券の償還 : 50百万円

(支出)

定期預金の増加 : 2億62百万円
 有形固定資産の取得 : 2億78百万円
 投資有価証券の取得 : 1億44百万円

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

前期比 : +1億52百万円

(支出)

配当金の支払 : 4億49百万円

利益配分に関する基本方針

当社は、創業以来一貫して、株主の皆様への利益還元を重要な課題の一つと捉えて事業経営にあたっており、**財務体質強化のための内部留保を確保しつつ、安定配当を継続し、かつ業績に応じた適正な利益配分を行うこと**を基本方針としております。

この方針に基づき、配当につきましては**1株当たり7円を安定配当**としつつ、**連結配当性向40%を目標**として、経営成績に応じた配当を実施していく所存であります。

配当の状況

2022年3月期 第2四半期	25.00円	(前期実績 15.00円)
2022年3月期 期末	40.00円	(前期実績 30.00円)
2022年3月期 合計	65.00円	(前期実績 45.00円)

株主優待制度

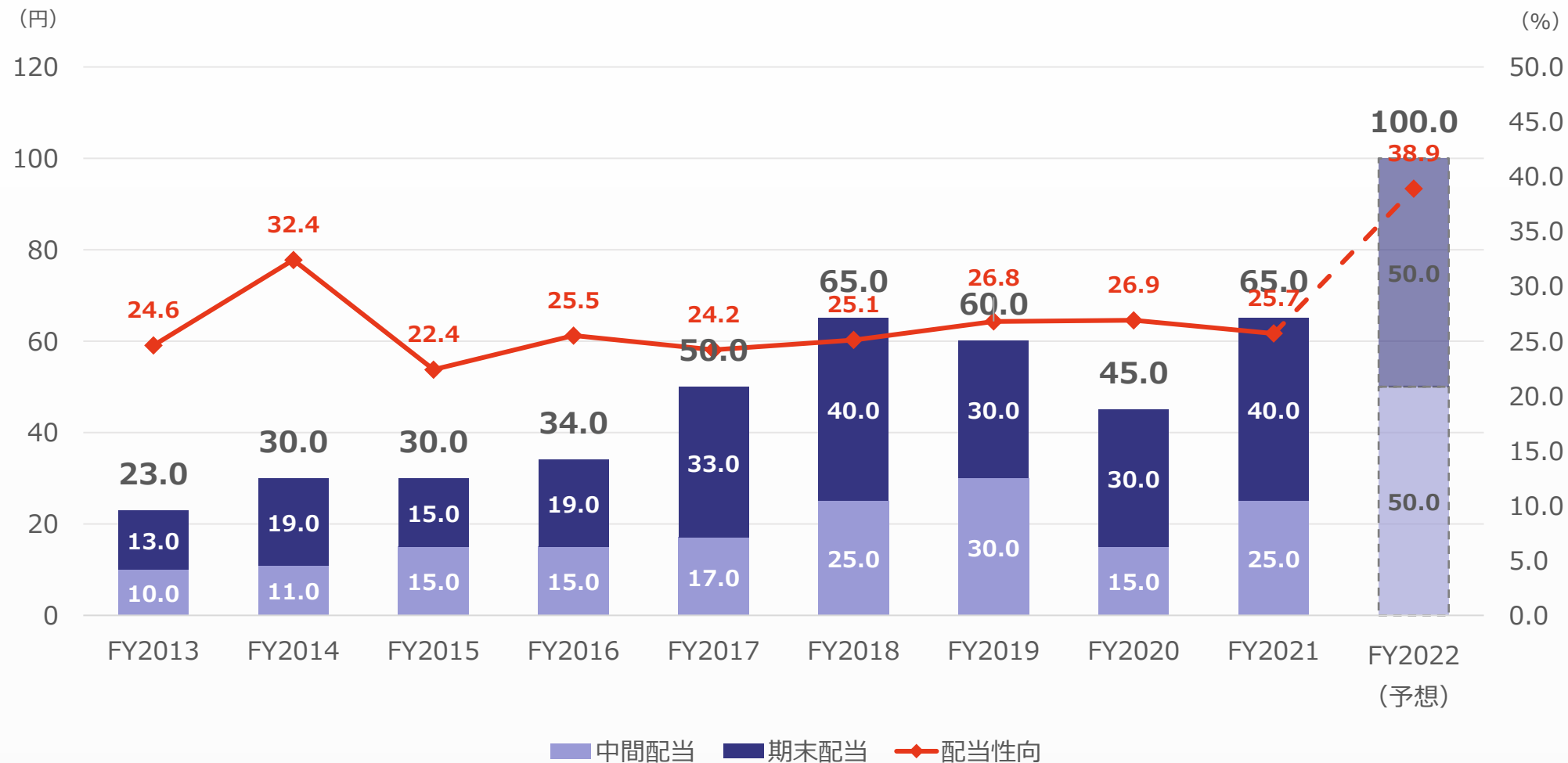
株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しております。

【株主優待制度】

割当基準日	3月31日
優待内容	<ul style="list-style-type: none"> ・100株以上300株未満所有の株主様 →クオカード1,000円分 ・300株以上500株未満所有の株主様 →クオカード2,000円分 ・500株以上1,000株未満所有の株主様 →クオカード3,000円分 ・1,000株以上10,000株未満所有の株主様 →クオカード4,000円分 ・10,000株以上所有の株主様 →クオカード10,000円分

(参考) 配当推移

当期末の剰余金の配当については、**1株当たり65円**とさせていただきます。
なお、次期の配当は**1株当たり100円**を予定しております。



3. 中長期經營計畫

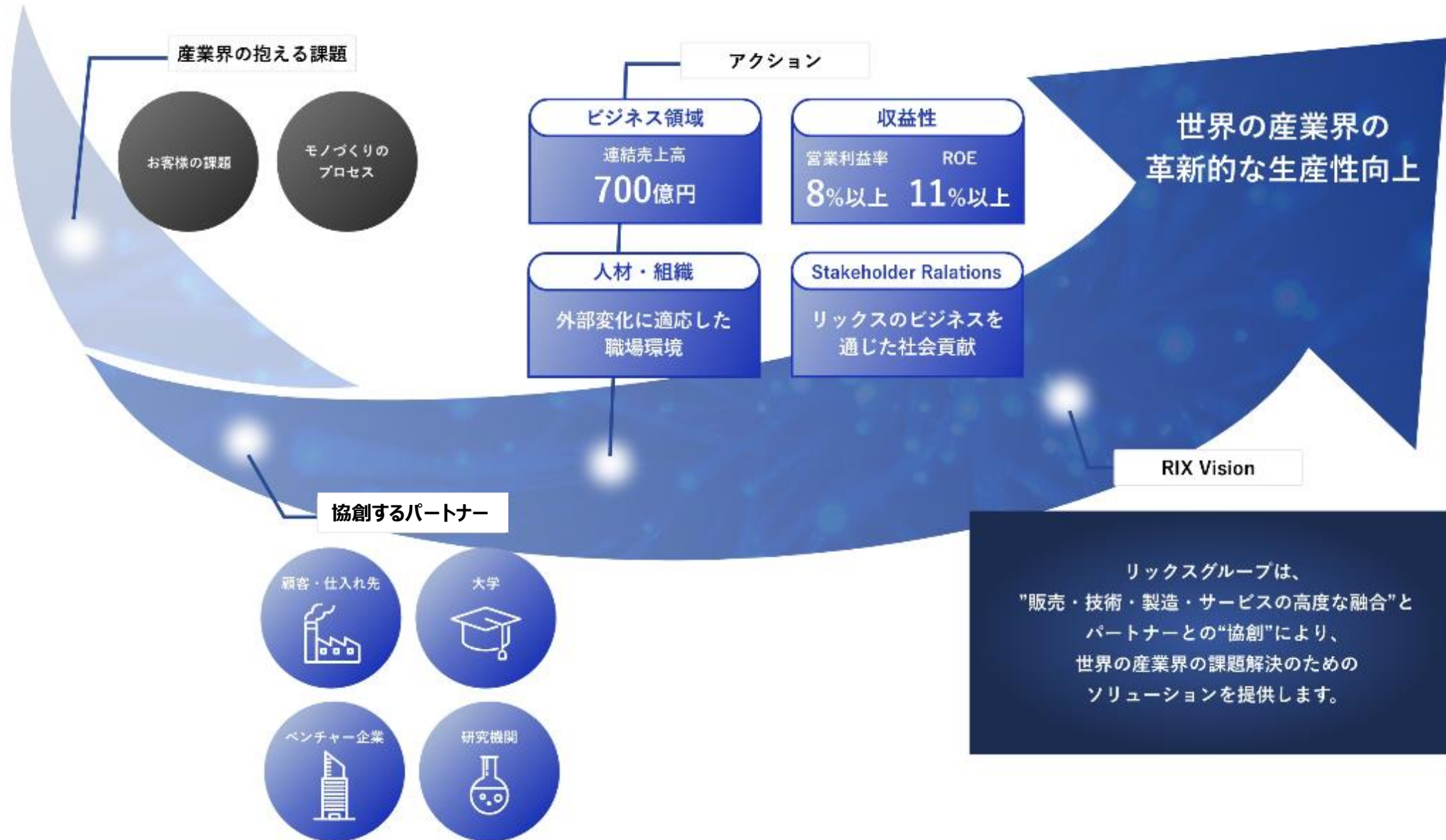
LV2030(長期計畫 : Long term Vision for 2030)

GP2023(中期經營計畫 : Rix Growth Plan 2023)

Long term vision for 2030

リックスグループは”販売・技術・製造・サービスの高度な融合”とパートナーとの”協創”により、世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します





ビジョン達成に向けた中期経営計画 4つの軸

1. ビジネス領域

- 現状の業界・業種 (450億円)
- 成長分野 (50億円)
- 海外 (500億円のうち70億円)
2020年度連結売上高海外比率11%
→ 2023年度目標14%

2. 収益性

- 営業利益率 6.5%以上・ROE10%以上・経常利益35億円
- オリジナル品比率40%以上

3. 人材・組織

- ライフ・ワーク・バランスの充実
- RIXing Action を実践できる人材の育成と定着
- 社内外 協創 を実現する組織の構築

4. ステークホルダーリレーションズ

- CSV-Creating shared Value ビジネスを通じた社会貢献の実行
- ステークホルダーとのコミュニケーションの活性化

2.収益性

「DX」と「協創」で収益性向上

定量目標

営業利益率

6.5 %以上 (6.5%)

ROE

10 %以上 (11.2%)

経常利益

35 億円 (29.8億円)

オリジナル品比率

40 %以上 (28.9%)

01.ビジネスモデルの変革とDX戦略の推進

データとデジタル技術を活用し、顧客や社会ニーズを満たす製品・サービス・ビジネスモデルへの変革

02.協創でオリジナル品を創出

オリジナル品（自社製品・プライベートブランド商品）の拡販を推進

03.開発の可視化でオリジナル品比率を向上

ステージゲートプロセスを導入し、オリジナル品の開発を推進

04.既存事業とシナジー効果を生むM&Aの促進

持続的な成長のため、M&Aを戦略的に策定・促進

※（ ）内は2022年3月期の数字

4. 本年度見通し

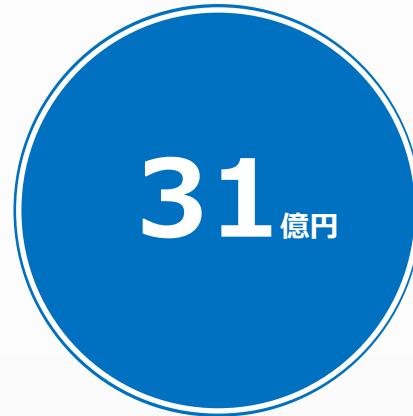
売上高



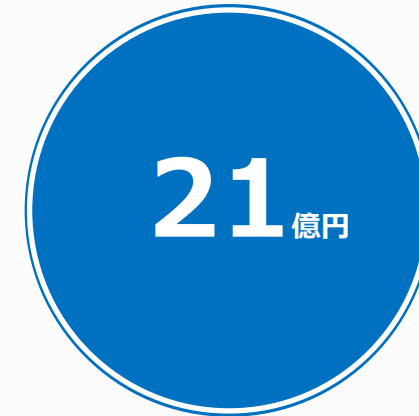
営業利益



経常利益



当期純利益



CASE関連の積極投資が継続 / 成長分野を深耕し業績伸長

鉄鋼

粗鋼生産は増加傾向
自動化などDX推進の投資は積極的



当社対応

- 安全・防災に関する自動化・AI導入
- 電磁鋼板・超ハイテン分野への深耕

自動車

自動車生産は増加傾向
EVなど環境対応車への投資は活発

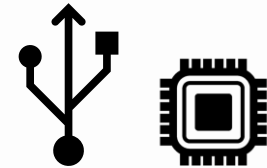


当社対応

- 自動化・自動計測案件の拡大
- 電池・モーター分野への深耕

電子・半導体

半導体の需要拡大続く
生産設備・機器のメンテナンス需要も高水準



当社対応

- 修理・再生ビジネスの拡大
- 車載半導体分野への深耕

CASE関連の積極投資が継続 / 成長分野を深耕し業績伸長

ゴム・タイヤ

タイヤ生産は増加傾向
環境対応車向けタイヤの開発進む



当社対応

- 自動化・無人化案件の拡大
- 環境対応車向けタイヤ開発部門への深耕

工作機械

工作機械受注は好調続く
半導体製造・EV向け部品加工で需要増



当社対応

- 自動化・効率化案件の拡大
- 新加工技術の研究・開発部門への深耕

新型コロナウイルス感染症の再拡大の可能性や、それに伴う海外における規制強化など経済情勢に影響を与える状況が続くことが考えられます。加えて、地政学的なリスクや資源価格の上昇等、経営環境に不透明さを増す要因が増えてきております。このような中、当社グループとしては、経済環境を注視しつつ、既存の顧客に対する営業強化を図るとともに、新規製商品の開発や新規分野の開拓を進めるなど、中期経営計画の諸施策を行ってまいります。

	FY2021	FY2022 (予想)	増減額	増減率 (%)	構成比
(単位：百万円)					
売上高	39,969	43,900	+3,931	+9.8%	100.0%
売上総利益	9,615	10,500	+885	+9.2%	23.9%
販管費	7,035	7,550	+515	+7.3%	17.2%
営業利益	2,580	2,950	+370	+14.3%	6.7%
経常利益	2,985	3,100	+115	+3.8%	7.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,051	2,100	+49	+2.3%	4.8%

5.事業トピックス

令和3年度 福岡県 循環型社会形成推進功労者知事表彰 (2021年6月)

当社製品が受賞

受賞製品

「フォーミング抑制剤 ロッキーライトRS」



製鉄の生産ラインで活躍

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



受賞理由

産業廃棄物として処理される「製紙スラッジ」と「人工大理石」を活用し従来品よりも高性能品を製造する技術を開発

用途

製鉄業界で使用される資材
鉄鉱石から鉄を取り出す金属精錬の際に発生するスラグ（金属カス）の吹きこぼれを防止するもの

当社初！製造業向け「IoTプラットフォーム」販売開始



RIXIoT
リクシオット

作業工数・コストを効率化

業界課題

生産現場

「人手不足」「働き方改革」「DX推進」

- メンテナンス作業の効率化
- 設備の効率稼働
- 設備劣化状況の監視、故障検知



簡単に導入できる
オールインワンパッケージ！

工場の機器に導入することで・・・

- 遠隔監視・制御、予兆監視
- エラーアラームの通知
- 稼働状況や原価コストを分析

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。

当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。